友達の大切さ

富士見小学校６年　西村　伶

私は３年生の時に富士見小学校に転校してきました。前は、所沢に住んでいました。お母さんが仕事で、私は学童に通っていました。なので、放課後に、「友達と遊ぶ」という事が考えられませんでした。でも、富士見小に転校してきて、友達と遊んだら、とても楽しかったです。なので、私は、友達の大切さについてお話します。私がこの学校に来て一番最初に声をかけてくれたのは、同じ班の人達でした。この学校についてや、この学校のルールも教えてくれました。３年生では、同じ班の人に誘われて、阿波踊りを始めました。阿波踊りは友達に誘われてから今でもやっています。３年生の時に誘われていなかったら、阿波踊りをやっている他の学年とも、仲良くなれなかったと思います。私はこの経験を通して友達っていいなと思いました。４年生では、応えん団をやりました。応えん団では、応えん団１人が１クラスに教える朝の時間にできなくて、友達に相談したら解決しました。その時相談に乗ってくれた友達に感謝したいです。さらに、４年生になると、友達が増えて、今までつまらなかった授業がとても楽しくなりました。それは、友達と一緒に相談して班ごとに発表するという時間があり、友達とのいろいろな意見を聞いたり自分も発表したりする中で、いろいろなことが分かっていったからです。また、友達がいたからこそ、いろいろな相談ができたんだと思います。この時間を与えてくれた先生と一緒に話してくれた、たくさんの友達に感謝したいです。５年生では、代表委員をやりました。代表委員は、今までの私の生活をみてくれていた友達が今までを思い出して、選んでくれました。自分が、友達のことを考えていろいろやってきたことが認められたようで嬉しかったです。６年生では、ミニバス大会と校区綱引き大会がありました。ミニバス大会では、友達と一緒に、富士見小を応えんしました。私が試合の時には、友達がたくさん応えんしてくれました。友達が応えんしてくれたおかげで、私はシュートを決めることができ、パスも上手くまわせました。綱引き大会では、友達と声をかけあい、協力して、準優勝しました。ミニバス大会も、綱引き大会も、友達との協力が無ければ、成り立ちません。私は、この経験をとおして、声をかけられる友達がいる喜びを感じることができました。今は、他のクラスの人とも仲良くしています。私はこの４年間、友達のおかげで学校がとても楽しくなりました。もし、これから転入生がきた時には、私の友達が私にしてくれたように、自分から進んで声をかけ、転校してきた子が、「学校にくるのが楽しい」と言えるようにしてあげたいと思います。私は小学校を卒業すると、中学校、高校、大学と進んでいきます。それぞれの学校では、今までと全くちがう人と出会うと思います。そんな時、周りに声をかけてもらうんじゃなく、自分から声をかけ、友達が困っていたら助けるようにしたいです。また、たくさんのつらい事や上手くいかない事があり、悩んでしまう事があると思います。そんな時こそ、友達と遊んだり、いろいろな話をしたりして１つ１つ解決していきたいと思います。ここまでこれたのは、友達がいてくれたおかげなので、友達に感謝をし、今までのことを活かして、自分が相手に、「友達で良かった」と

思われるような行動をしたいと思います。そして、おたがいに親友だと思えるような友達をつくり、大切にしたいです。私は、富士見小学校に来て、友達の大切さを改めて感じました。あと、小学校生活は９ヶ月ですが、友達を大切にし、残り９ヶ月の小学校生活を楽しくすごしたいです。

　友達を大切にする。みんながこの気持ちを持てばいじめなどもなくなり、みんな楽しく生活できる、学校や社会が築いていけると思います。